

「第4世代移動通信システム(LTE-Advanced)等の高度化に関する技術的条件」概要

		LTE-Advanced	
周波数帯		3.5GHz帯	700MHz帯、800MHz帯、900MHz帯、 1.5GHz帯、1.7GHz帯、2GHz帯
通信方式		TDD	FDD
多重化方式/ 多元接続方式	下り	OFDM及びTDM	OFDM及びTDM
	上り	SC-FDMA	SC-FDMA
キャリアアグリゲーション形態	下り	規定不要	規定不要
	上り	規定不要 ※連続する搬送波の数は2とする	規定不要 ※連続する搬送波の数は2とする
空間多重(MIMO等)	下り	規定不要(8アンテナ送信まで検討)	規定不要(8アンテナ送信まで検討)
	上り	規定不要(4アンテナ送信まで検討)	規定不要(4アンテナ送信まで検討)
変調方式	基地局	BPSK/QPSK/16QAM/64QAM/ 256QAM	BPSK/QPSK/16QAM/64QAM/ 256QAM
	移動局	BPSK/QPSK/16QAM/64QAM	BPSK/QPSK/16QAM/64QAM
占有周波数帯幅の許容値	基地局	5MHz/10MHz/15MHz/20MHz	5MHz/10MHz/15MHz/20MHz
	移動局	5MHz/10MHz/15MHz/20MHz ※連続する搬送波によるキャリアアグリゲーションについてはシステムごとに規定	5MHz/10MHz/15MHz/20MHz ※連続する搬送波によるキャリアアグリゲーションについてはシステムごとに規定
空中線電力の許容値	基地局	定格空中線電力の±3.0dB以内	定格空中線電力の±2.7dB以内
	移動局	定格空中線電力の最大値は23dBm以下 ※MIMO:各空中線端子の合計値 ※キャリアアグリゲーション:各キャリアの合計値	定格空中線電力の最大値は23dBm以下 ※MIMO:各空中線端子の合計値 ※キャリアアグリゲーション:各キャリアの合計値
		定格空中線電力の +3.0dB/-6.7dB	定格空中線電力の +2.7dB/-6.7dB
空中線絶対利得の許容値	基地局	規定しない	規定しない
	移動局	3dBi以下	3dBi以下
中継方式	陸上移動中継局・小電力レピータ	非再生中継方式/再生中継方式 ※周波数変換を行うことができる	非再生中継方式/ 再生中継方式 (注) ※周波数変換を行うことができる

(注) IMT-2000の陸上移動中継局及び小電力レピータにも適用する。